

会議記録

会議名称		第1回杉並区高円寺・南阿佐ヶ谷・新高円寺エリア自転車駐車場指定管理者候補者選定委員会
日時		令和7年6月24日(火) 9時30分から11時30分まで
場所		理事者控室(中棟4階)
	委員名	東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科准教授 : 稲垣 具志 東海大学建築都市学部土木工学科准教授 : 鈴木 美緒 特定非営利活動法人おでかけサービス杉並 理事長 : 秋山 糸織 杉並区都市整備部長 : 中辻 司 杉並区都市整備部まちづくり担当部長 : 吉見 紗
出席	事務局職員	都市整備部管理課交通企画担当課長 尾田 謙二、都市整備部管理課自転車駐車場係長 新田 崇人、都市整備部管理課自転車駐車場係主査 香村 義尊、松井 恵佑、長崎 真希子
席者	当 日	(1) 次第 (2) 委嘱状 (3) 資料1 杉並区高円寺・南阿佐ヶ谷・新高円寺エリア自転車駐車場指定管理者候補者選定委員会委員名簿 (4) 資料2 運営と所掌事項について(案) (5) 資料3 杉並区高円寺・南阿佐ヶ谷・新高円寺エリア自転車駐車場指定管理者候補者選定公募型プロポーザル募集要項(素案) (6) 資料4 選定方法について(案) (7) 資料5 選定委員会の日程(案)
会議次第		1 開会挨拶 2 委員紹介 3 会長の選出について 4 議題 ○ 選定委員会の運営と所掌事項について ○ 募集要項について ○ 選定方法等について 5 今後の選定委員会の日程について

3 会長の選出について 会長は委員の互選により稻垣委員、会長指名により代理は鈴木委員に決定。	4 議題 【選定委員会の運営と所掌事項について】 資料 2 を用いて、事務局から説明した。 (質疑応答) 質問なし 【募集要項について】 資料 3 を用いて、事務局から説明した。 (質疑応答) ●シルバー人材センターがこれまでかかわってきたが、今後はどうなるのか。既存従業者の継続雇用や地域の高齢者(区内に事業所が所在するシルバー人材センターなど)の雇用について記載があるとよい。 → (事務局) 評価項目の業務執行体制の考え方で高齢者の雇用を提案しているかどうか項目を設けている。シルバー人材センターの既存の労働者就労状況などもあり重要と考えているので評価の係数を高めにしている。募集要項にも記載する。 ●現在働いている方はキャッシュレス化によって削減となるのか。 → (事務局) 現在はほとんどの駐輪場が常駐管理であるが、キャッシュレス化により巡回管理の駐輪場が増えるため、減ると想定している。 ●新型コロナウイルス感染症による影響を明確に記述することで、ポストコロナの生活に対応した業者提案を誘導できればと思った。 → (事務局) 新型コロナウイルス感染症の影響による人々の生活様式の変容によって自転車の利用形態が大きく変わっているかと思うので、その旨を記載する。 ●業務の範囲における「利用啓発」とは誰に対するどのような啓発なのか。「利用啓発」の意味をより明確にした方が良いのではないか。 → (事務局) 自転車駐車場を利用するための啓発を想定しているので、その旨を追記する。 ●「区が目指す姿①ア～ウ、同②ア～ウ」において、それぞれの項目について、どの自転車駐車場が対象なのかわかりづらい。 → (事務局) ①については全 6 施設とわかる旨を記載する。②については記載方法を検討する。 ●提案事項について、区が目指す姿①の中にキャッシュレス化と収容台数が記載されていて、またさらに②でも収容台数の記載があり、別々に書いてあることに何か意味はあるのか。集約したほうがよいのではないか。 → (事務局) 提案を 2 つに分けてほしいという意味ではなく、提案の重要な柱になっているという意味合いである。②のキャッシュレス化と収容台数の部分は(仮称) 南阿佐ヶ
---	---

谷第四自転車駐車場のことで、収容台数は160台以上を想定している。南阿佐ヶ谷エリアで合計4カ所の中で、定期利用者数分の収容台数の確保が可能であれば、定期と一時利用の配置を自由に組み合わせた提案を可能としている。記載方法を検討する。

- キャッシュレス化などの方法は別の提案にしたほうがいいのではないか。区が予め2つの柱を掲げてしまうと事業者が提案内容を作成しにくいのではないか。キャッシュレス化は（仮称）南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場のことだとわかったが、①の駐輪場はそれぞれどこのことなのか、②との整合性をとって同じような提案書が書けるようにした方がいいのではないか。評価する委員たちにも波及するのではないか。

→（事務局）

記載方法を検討する。

- 収入と支出はどうなるのか。基本的には赤字で、指定管理料は区が公的資金として拠出することが前提になるのか。

→（事務局）

収支について、今回キャッシュレス化に伴う機器の入替え費用が多くかかる。利用料金として事業者の収入になるが、それよりも支出の方が多くのでその分は指定管理料で負担する。

- 最初にかかるイニシャルコストを利用料金で回収していくのか。

→（事務局）

基本的に区の駐輪場は歳入より歳出のほうが多い状況である。それを前提に考えて指定管理の事業はイニシャルコストを除いてもプラスは見込めない。工夫や運営の仕方、キャッシュレス化で人員を削減できるので、現況よりは経費削減できると見込んでいる。

- キャッシュレス化で駐輪場が無人になると、どのように地域連携するのか。自主事業の提案の中にある交通事故の防止等はどうするのか。人ととのコミュニケーションがなくなることについての連携はどのように想定しているか。

→（事務局）

地元の町会などのイベント時期など、商店街との連携でイベントをやる際に駐輪場の利用と何かタイアップできるのではないか。特に南阿佐ヶ谷は買い物客の自転車の放置が課題である。まずはこの6施設を独立して運営してもらい、新しい展開を期待している。

- これまでの経験上、自主事業としては、イベントに参加して交通安全の啓発をしたり、放置対策で指定されている場所以外にも駐輪場を作るケースもある。AEDや災害対応自販機を設置して自転車駐車場の利用者だけでなく区民が誰でも使える拠点とする提案などがあった。事業者はそのような案を持っているのではないか。具体例だけでなく「区の課題解決に資する」という書き方をすればよいのではないか。

→（事務局）

「区の課題解決に資する」という文言をいれて自主事業の提案を募る。

- 区長は自転車に乗りやすい街を目指しているが、私自身が高円寺に行った際、自転車が停められない。空き情報はわかつても結局総数が増えなければいけない。別のエリアも展開していくような提案は自主事業の中には含まれないのである。

	<p>→ (事務局)</p> <p>6カ所については台数の提案も可能としている。それ以外に地域貢献という観点で民営自転車駐車場の設置が可能であればそのような提案も自主事業で可能である。高円寺については乗入台数も放置自転車も多い。高円寺駅と新高円寺駅については収容台数を増やしてもらえる可能性はあるかもしれない。</p> <p>●杉並区産 MaaS 「ちかくも」との連携の部分で明確な意思が出ているが、これに尻込みしてしまう業者が出ないか。提案者に必要な情報提供を行うため、区公式 HPにおける「ちかくも」のページのリンクを追記してはどうか。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>「ちかくも」はLINEのミニアプリなのでどんなシステムでも連携が可能である。情報提供として、区公式 HP ちかくもの URL を追記する。</p> <p>●「短時間利用専用エリアにおける提案」について、短時間利用専用エリア内だけでの提案というように読める。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>買い物等利用者対象の短時間駐車対策を提案してもらいたいので、無料時間の設定等をいずれの自転車駐車場でも提案が可能という旨が伝わるようにする。</p> <p>●駐車場で定期の場所なのか優先スペースなのかどこに停めればいいのかわからない。今は大型車などは声をかけて案内しているが、無人になると障害者や高齢者への配慮はどうなるのか。駐車場の中での案内を明確にすることは事故防止にもつながる。満車で他の駐輪場を探している際に事故が起きるリスクもあるので、ぜひ記載してほしい。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>ユニバーサルデザインの採用など、高齢者や障害者等に配慮したわかりやすい駐車環境が提案されるようにする。</p> <p>●清掃や警備に関する提案の記載がないが、どのように考えているのか。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>必要であると考えているので、記載する。</p> <p>●指定期間後の原状回復はどうなるのか。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>指定管理者が設置した機器等については、原状回復して引き継ぐこととなる。原状回復について、追記する。実施時期や実施方法等について区と協議する旨も追記する。</p> <p>募集要項について、各委員からの意見、質疑を踏まえて検討する内容については、会長と事務局で調整した後に公表する旨について、選定委員全員の了承を得た。</p> <p>【選定方法について】</p> <p>資料4を用いて、審査方法や評価項目について事務局から説明した。</p> <p>(質疑応答)</p> <p>●法人の適格性について、労務管理状況に関する書類だが、「適正な労働環境の確保に関する取組」との違いがわからない。分ける必要があるのか。また、働き方については委員の主觀で採点してもいいのか。書類上で一律で点数をつけるのか。</p> <p>→ (事務局)</p>
--	--

	<p>労務管理状況に関する書類については資料4別添が出ていれば得点とする。適正な労働環境の確保に関する取組については、委員間でズレが出ないように、子育て認証の有無など共通認識をもって採点ができるようにする。</p> <p>●提案の妥当性について、募集要項にもあるように区の自転車の施策やまちづくりを理解したうえで提案してほしい。企画の質の項目で施設の在り方は採点できそうだが、まちづくりの中での駐輪場という視点で提案できるかという内容を入れるとよいのではないか。駐輪施設だけに特化するのではなく、杉並区の課題を踏まえた提案内容であるかを評価できる項目があるとよい。</p> <p>→（事務局）</p> <p>評価項目に反映させる。</p> <p>●収支計画において、余剰金を増やすために過少見積もりをしていないかを確認する項目があるとよい。</p> <p>→（事務局）</p> <p>収入見込額は妥当かという内容を入れている。</p> <p>●プレゼンの時間や資料は募集要項に書いておいた方がよい。</p> <p>→（事務局）</p> <p>追記する。</p> <p>●二次審査は質疑応答が適格かどうかは含めないのか。同じ基準だと同じ採点になってしまふ。区と一緒に運営していく事業者として適正かどうかを審査するので、質疑応答の適格性を審査しないと意味がないのではないか。</p> <p>→（事務局）</p> <p>質疑応答はポイントになると思っているので、委員の意見を反映し、評価項目の中に「質疑応答は適切か」を追加する。</p> <p>●対話の区政を掲げている以上は利用者の意見を施作に反映させているかを審査しなければならないのでそこを評価基準に入れ込んだ方はよいのではないか。</p> <p>→（事務局）</p> <p>検討する。</p> <p>評価項目について、各委員からの意見、質疑を踏まえて検討する内容については、会長と事務局で調整した後に公表する旨について、選定委員全員の了承を得た。</p> <p>【委員会日程について】</p> <p>資料5を用いて、今後の選定委員会の日程等について事務局から説明</p> <p>(質疑応答)</p> <p>質問なし</p>
--	---

会 議 記 錄

会議名称		第2回杉並区高円寺・南阿佐ヶ谷・新高円寺エリア自転車駐車場指定管理者候補者選定委員会
日 時		令和7年8月28日(木) 14時から16時まで
場 所		第7会議室(西棟6階)
	委員名	東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科准教授 : 稲垣 具志 東海大学建築都市学部土木工学科准教授 : 鈴木 美緒 特定非営利活動法人おでかけサービス杉並 理事長 : 秋山 糸織 杉並区都市整備部長 : 中辻 司 杉並区都市整備部まちづくり担当部長 : 吉見 紗
出席者	事務局職員	都市整備部管理課交通企画担当課長 石森 健、都市整備部管理課自転車駐車場係長 新田 崇人、都市整備部管理課自転車駐車場係主査 香村 義尊、松井 恵佑、長崎 真希子
出席者	当資料	(1) 次第 (2) 資料1 審査集計表 (3) 資料2 第3回選定委員会について
会議次第		1 開会挨拶 2 議題 ○ 第一次審査(応募書類審査) ○ 第一次審査結果及び第一次審査通過団体の選定について ○ 第3回選定委員会について

【事務局からの説明】

- ・応募事業者が他区で起こした不正な行為について説明
- ・経営状況診断の結果説明

【第一次審査（応募書類審査）】

（委員の感想・意見）

① 3社共通

- 書類よりもプレゼンを重視したいので質疑応答によって選定したい。
- キャッシュレス・デジタル化の推進がポイント。3社ともデジタル管理・人的管理の併用の提案がなされていて手厚い印象。民間活用によるコスト削減という意味ではさほど効果はない印象。
- 放置自転車の減少やルールの徹底など目新しい事業者のノウハウを生かせる自主事業の提案がほしい。
- 収容台数の減や詳細スケジュールを二次審査で確認し、採点したい。

② 委員の質問に対する事務局の回答

- 定期枠の考え方について、事務局としてはどのように考えているのか。

→（事務局）

各自転車駐車場においては定期待ちを解消するのが目的だが、定期契約者の利用状況を分析して、適正な規模で定期枠を確保してもらいたい。定期枠で使われていない部分を一時利用で使えるように状況を鑑みて台数を提案してもらいたい。

- 整備スケジュールについて、どう評価するか判断が難しい。

→（事務局）

募集要項で記載するように書かれているので、一次審査では記載の内容による判断となる。

【第一次審査結果及び第一次審査通過団体の選定について】

各委員の意見を反映させた結果、第1次審査は500点満点のうち6割にあたる300点を超えた業者が1次審査通過となるので3社とも通過とする。

B社 397点

A社 362点

C社 342点

【第3回選定委員会について】

第3回：令和7年10月28日（火） 13時20分から

場 所：区役所東棟4階 経営会議室

内 容：第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

会 議 記 錄

会議名称		第3回杉並区高円寺・南阿佐ヶ谷・新高円寺エリア自転車駐車場指定管理者候補者選定委員会
日 時		令和7年10月28日(火) 13時20分から16時35分まで
場 所		経営会議室(東棟4階)
	委員名	東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科准教授 : 稲垣 具志 東海大学建築都市学部土木工学科准教授 : 鈴木 美緒 特定非営利活動法人おでかけサービス杉並 理事長 : 秋山 糸織 杉並区都市整備部長 : 中辻 司 杉並区都市整備部まちづくり担当部長 : 吉見 紗
出席者	事務局職員	都市整備部管理課交通企画担当課長 石森 健、都市整備部管理課自転車駐車場係長 新田 崇人、都市整備部管理課自転車駐車場係主査 香村 義尊、松井 恵佑、長崎 真希子
出席者	当 日 資 料	(1) 次第 (2) 二次審査表 (3) 資料1 第一次審査結果集計表 (4) 資料2 第二次審査タイムスケジュール表 (5) 資料3 選定結果ホームページ公表案
会議次第		1 開会挨拶 2 議題 <ul style="list-style-type: none">○ 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング審査)○ 指定管理者候補者の選定について 3 今後のスケジュールについて

【第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）】

全3社の審査を、応募書類の提出を受けた順番より、A社、B社、C社の順に実施した。

①A社（「●」は委員の発言、「→」は事業者の回答）

●南阿佐ヶ谷エリアの買い物利用による一時的な放置、短時間利用者を（仮称）南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場で受けているが、青梅街道を渡るので、本当に短時間の放置自転車の受け皿になるのか疑問である。

→どこかの施設を一時利用と定期利用に分けたとしても台数は足りない。（仮称）南阿佐ヶ谷第四自転車駐車場を常時一時利用として使って、さらに無料時間を設定することで、定期利用待機者をゼロにしながら一時利用を全て受け入れられると考えた。

●いつからキャッシュレスが実現するのか、一時利用から定期に変わる際の周知など今後のスケジュールを教えてほしい。

→来年度4月から各施設の区分ごとに工事をしていく、10月までに提案内容が全て実現している状態にする予定。4月1日以降に定期受付の方法が変わることは年度内から各施設に告知し、4月の定期受付分から変更を考えている。

●工事期間中の有人管理になるコストや現場の人員も見込まれているのか。

→機器を設置するまでの間、現在管理人が手売りで料金を徴収している場所は、現在想定している人員配置にプラスして人員が必要になる。

②B社（「●」は委員の発言、「→」は事業者の回答）

●収容台数についての考え方を教えてほしい。

→台数の根拠は令和6年の実績をもとに計画した。区と協議して最終的な台数は決めていきたい。予定している電磁ラックは比較的幅の広いものを設定しているので、ラックの間隔を狭めて増やすように調整はできる。

●利用実績データに基づいて駐輪場運営の最適化に取り組むとのことだが、他の自治体で実績はあるか。

→電磁ラックで収集できる情報としては、ピークの時間帯などのデータが取れる。料金設定について、どのくらいの台数が無料時間内で使われているのか等を分析し、料金の改定を行った実績がある。

●スケジュールについて、4月1日から今回の提案の内容で運営開始できるのか。

→応募する段階で4月から開始を前提として社内で調整している。選定されればすぐに協議を開始したい。

③C社（「●」は委員の発言、「→」は事業者の回答）

●データによって一時利用と定期利用の配置を変える提案があるが、これまでの実

績ではどのくらいの周期で変更してきたか。
→自治体によって異なるが、一般車と大型車の割合の変更は毎月提案することが多い。設備投資が必要な場合は、収支に影響があるので半年から一年に一度変更することが多い。

●コールセンターについて、利用者の声で変更した点はあるか。
→オンラインシステムの使い方が分からぬという問い合わせが非常に多いので HP 上で QA 集を掲載している。

●放置自転車対策システムと駐輪場の運営はどのように関連して展開していくのか。切り離れているように感じる。
→放置自転車対策システムによって放置自転車がどこにどのくらいあるのかという情報提供はできるので、それを活用して啓発指導員の配置方法など区で検討してもらえたると考えている。

【指定管理者候補者の選定について】

審査の結果、A社が 714 点、B社が 818 点、C社が 651 点となり、最も評価点数の高かったB者が指定管理者候補者として選出された。

以下、選定委員の講評

- データ分析の話がポイントとなってB社が選ばれたと思う。区の自転車駐車場の管理・運営に役立つように区が働きかけてデータを活用してもらいたい。
- B社は区立自転車駐車場に加えて民間駐輪場も含めて一つのエリアとしてマネジメントできる可能性があるのは強みだと思った。
- B社は提案内容に具体性があった。区の自転車活用推進計画に対してどう貢献するかについて、今までの区内での実績を元に考えていく姿勢や実効性についても具体的に説明があった。

【今後のスケジュールについて】

事務局より、今後のスケジュールと選定結果の公表案について説明を行った。

参加事業者への結果通知：令和 7 年 1 月中旬

区公式ホームページへの結果公表：令和 7 年 1 月